

【別添資料 14】

平成 26 年度厚生労働省委託事業

「医療保険者等における番号制度の活用に関する調査研究」

健康保険組合システム開発ベンダー様

及びシステム担当者様向け

既存システム改修に係る見積り仕様書

調整中

平成 27 年 3 月

日本システムサイエンス株式会社

目次

1.	概要.....	1
2.	前提条件.....	1
2. 1	番号制度に係るシステムの全体像	1
2. 2	システム開発スケジュール	2
2. 3	環境条件	2
3.	見積条件.....	3
3. 1	既存システムの改修に係る基本的な考え方	3
3. 2	既存システムの改修対象	4
3. 3	改修要件	4
3. 4	運用要件	8
3. 4. 1	中間サーバーへの初回の情報登録の考え方	8
3. 4. 2	システム切替.....	8
3. 5	試験条件	9
3. 6	その他の対応事項	10
3. 6. 1	操作マニュアル等の修正	10
3. 6. 2	改修後システムの操作研修等の実施	10
3. 7	統合専用端末等の整備	11
3. 7. 1	統合専用端末が提供する機能.....	11
3. 7. 2	統合専用端末のセットアップ及び台数の考え方	12
3. 7. 3	取りまとめ機関とのネットワーク接続	12

【仕様書別添資料】

1. システム開発スケジュール（案）
2. 情報照会できる具体的な手続一覧
3. 中間サーバー－保険者システム インターフェイス仕様案
4. テストの考え方
5. 中間サーバーの通信シーケンス概要

1. 概要

健康保険組合（以下、「健保組合」という）は、社会保障・税番号制度（以下、「番号制度」という）の実施に対応して、現在、健保組合において運用しているシステム（以下、「既存システム」という）を改修することが必要になります。本書では、健保組合が既存システムを改修する場合に必要なシステム改修の費用及び工期の見積りに必要な要件を定義します。

各健保組合は、本書を既存システムの開発ベンダーに提示し、システム改修の費用及び工期の見積りを依頼してください。

2. 前提条件

本章では、「健康保険組合における番号制度導入の手引き」の工程を前提とし、既存システムの外部環境を要件として提示します。このため、番号制度を実現するためのシステムの全体構成並びにシステム全体の開発スケジュールについて説明します。

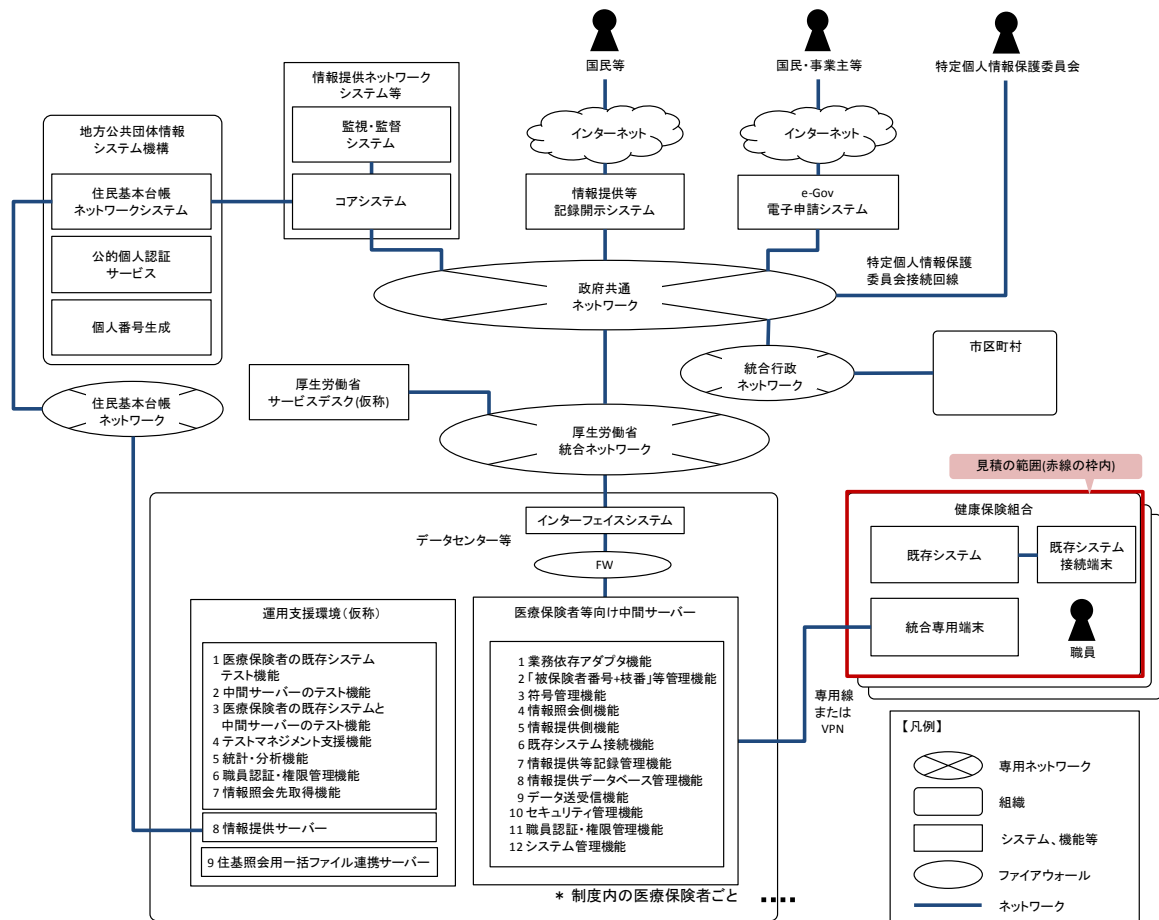
さらに、外部環境を利用するための環境条件として、統合専用端末の要件及びネットワークの接続条件を示します。

2. 1 番号制度に係るシステムの全体像

番号制度では、情報提供ネットワークシステムが住民や情報保有機関の情報連携の情報基盤として中核的な役割を担います。住民基本台帳ネットワークシステム（以下、「住基ネット」という）は、番号の付番や機関別符号等の元帳として、本人確認の中核的な役割を担います。

これらの中核システムと情報保有機関である健保組合をつないで情報連携を行うために医療保険者等向け中間サーバーがあります。医療保険者等向け中間サーバーは、取りまとめ機関が各健保組合単位に構築して運用します。健保組合は、統合専用端末を介して医療保険者等向け中間サーバーに接続し、他の医療保険者等や情報保有機関、住基ネットと情報連携を行います。

運用支援環境（仮称）は、健保組合が医療保険者等向け中間サーバーを利用して他の情報保有機関と情報連携するための情報取得先を探索する手段や、システム構築に必要なテスト環境を提供します。統合専用端末は、運用支援環境（仮称）の情報提供サーバーを介して住基ネットと情報連携を行います。



2. 2 システム開発スケジュール

システム開発スケジュールは、仕様書別添資料 1「システム開発スケジュール（案）」を参照してください。既存システムの改修は、医療保険者等向け中間サーバー等外部システムとの連動テストが必要になります。このため、既存システムの改修は、連動テストの開始以前に、既存システムとしての試験を完了しておいてください。

2. 3 環境条件

前述したように、番号制度に対応するためには、既存システムの改修だけでなく、医療保険者等向け中間サーバーの統合専用端末設置及びそのためのネットワーク環境の整備等の作業が必要になります。

3. 見積条件

3. 1 既存システムの改修に係る基本的な考え方

既存システムの改修にあたっては、以下の条件に沿って対応することが必要になります。

- ① 既存システムの改修は、別添資料 9「個人番号を利用できる具体的な手続（帳票）一覧」に挙げられた全ての手続について個人番号と関連付けられるようにする。
- ② 別添資料 9「個人番号を利用できる具体的な手続（帳票）一覧」に挙げられた手続きのうち、「情報連携対象」となっている手続きは全て情報連携を行えるようにする。
なお、実現方式としては、P5 に示す「一括ファイルにおける情報提供」、「人的対応における情報提供」が挙げられる。
- ③ 別添資料 9「個人番号を利用できる具体的な手続（帳票）一覧」で示した申請及び届出の帳票に、個人番号欄を設けることができる。ただし、被保険者資格取得の届出、被扶養者の届出に係る帳票については、個人番号欄の追加が必要となる。（個人番号を追加することができる届出等は、関係省令で規定される予定。）
- ④ 届出の受理、結果や決定の通知等の申請及び届出の関連帳票には個人番号欄を設ける必要はない。

3. 2 既存システムの改修対象

既存システムの改修は、番号制度において対象となる番号法第 9 条及び、番号法別表第一の主務省令等で示された業務の範囲のうち、基幹業務システムの適用、給付、徴収の機能を改修対象とします。

項番	システム名	番号制度への対象判定
1	基幹業務システム	対象
2	適用	対象
3	給付	対象
4	徴収	対象
5	予算・決算	対象外
6	経理	対象外
7	その他（集計表出力等）	対象外
8	レセプト関連システム	対象外
9	保健関連システム	対象外

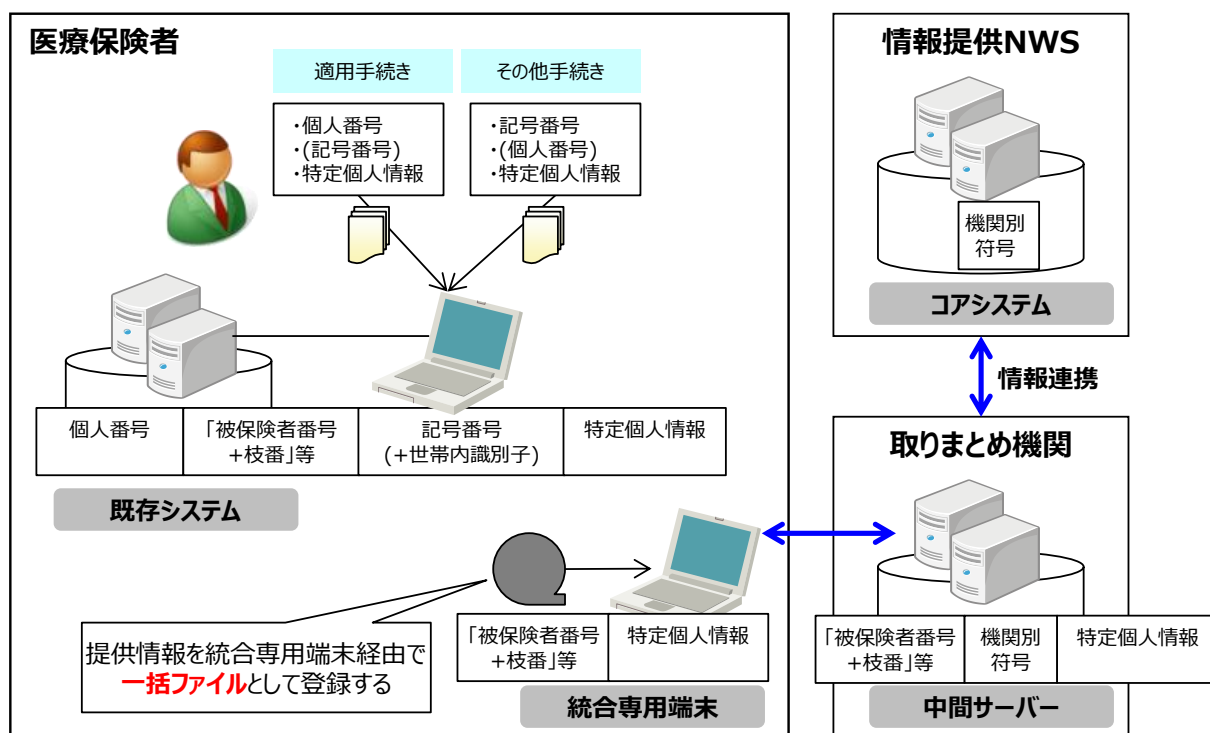
3. 3 改修要件

第 2 章の環境条件に基づき、改修要件について示します。なお、帳票やセキュリティ等の改修要件の一部については、人的な対処を含めて検討を行うこととし、必ずしもシステムだけで対処する必要はありません。さらに、セキュリティについては、特定個人情報保護において求められる安全管理措置との整合が不可欠であり、今後、特定個人情報保護委員会がとりまとめる付録 4「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（事業者編）」を踏まえて対処することが必要です。

情報の抽出及び出力については、仕様書別添資料 5「中間サーバーの通信シーケンス概要」を参考にして入出力条件を検討してください。

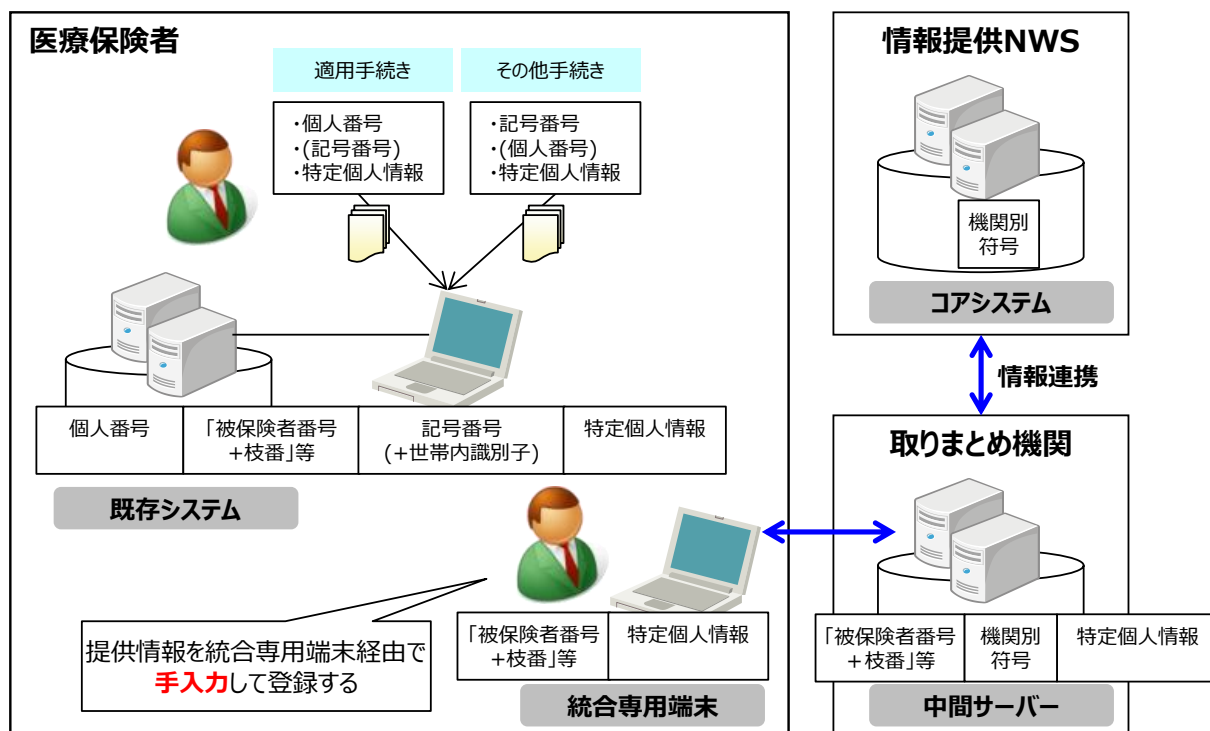
既存システムと、統合専用端末を経由した情報連携における情報の流れとキー情報の使い方について、以下にイメージ図を示します。

一括ファイルにおける情報提供



※一括ファイルの詳細は、仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システムインターフェイス仕様案」の提供情報アップロード IF を参照ください。

人的対応における情報提供



項番	機能／非機能	改修要件
1	適用	適用及び異動申請の帳票において、個人番号の記入欄を設けること。※
2		資格取得及び異動の申請画面において、個人番号の登録及び変更が行えること。 具体的には以下の申請画面とする。 ① 2 以上事業所の選択の届出 ② 被保険者資格取得の届出 ③ 被扶養者の届出 ④ 任意継続被保険者の資格取得の届出 ⑤ 特例退職被保険者の資格取得の届出 ⑥ 【名称要確認】個人番号異動の届出
3		項番 2 で取得した個人番号について、加入者個人の属性として登録すること。なお、適用、給付、徴収のシステムが独立している場合、それぞれのシステムに個人番号を登録すること。
4		仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システムインターフェイス仕様案」に基づき、個人番号をキーとした「被保険者番号＋枝番」等取得用のファイルが生成できること。
5		取得した「被保険者番号＋枝番」等について、加入者個人の属性として登録すること。なお、適用、給付、徴収のシステムが独立している場合、それぞれのシステムに「被保険者番号＋枝番」等を登録すること。
6		仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システムインターフェイス仕様案」に基づき、医療保険者等向け中間サーバーの情報提供業務用として、「被保険者番号＋枝番」等をキーとした適用に関する情報を登録・更新するためのファイルが生成できること。
7		個人番号によって、資格に関する情報が検索できること。
8	給付	仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システムインターフェイス仕様案」に基づき、「被保険者番号＋枝番」等をキーとした情報提供用の給付に関する情報を登録・更新するためのファイルが生成できること。
9		給付申請の帳票において、個人番号の記入欄を設けること。※
10		個人番号によって、給付業務において、資格に関する情報が検索できること。
11	徴収	仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システムインターフェイス仕様案」に基づき、「被保険者番号＋枝番」等をキーとした情報提供用の徴収に関する情報を登録・更新するためのファイルが生成できること。
12		徴収申請の帳票において、個人番号の記入欄を設けること。※

項番	機能／非機能	改修要件
13		個人番号によって、徴収業務において、資格に関する情報が検索できること。
14	セキュリティ 等	ID、パスワードにより職員の認証が行えること。
15		認証により個人番号及び（間接的に）「被保険者番号＋枝番」等を利用する業務に従事する職員のみが当該機能にアクセスできるアクセス制御が行えること。
16		個人番号を用いた情報検索や特定個人情報の出力、個人番号及び「被保険者番号＋枝番」等の登録、変更について職員認証に基づいたログが取得できること。

※対象となる業務、帳票については別添資料 9「個人番号を利用できる具体的な手続（帳票）一覧」を参照

3. 4 運用要件

3. 4. 1 中間サーバーへの初回の情報登録の考え方

初回の情報登録の対象となる情報は、平成 29 年 1 月時点での加入者を対象とします。システム開発スケジュールに基づき、平成 29 年 3 月より順次「被保険者番号＋枝番」等の取得及びデータ情報登録を開始します。

情報登録は 700 万人分の個人情報／1 週間を一単位とし、複数の健保組合が同時並行で処理を実施します。初回の情報登録完了の通知後は、通常運用での情報登録を前提とします。

既存システムからの情報抽出及び出力は、仕様書別添資料 3「中間サーバー保険者システム インターフェイス仕様案」に準じてファイルに出力を行い、媒体またはオンラインで移行します。

※医療保険者等向け中間サーバーへの初回の情報登録について、システムベンダーの対応にかかる費用・工数を見積もるために、想定される条件を仮定して、提示している。今後、関連システムのスペックが明らかになった時点で別途見直して示す。

3. 4. 2 システム切替

システム開発スケジュールに基づき、平成 27 年 10 月以降に入手した個人番号を既存システムに登録します。事業主から個人番号を集めるには、全ての個人番号が交付された平成 28 年 1 月以降の 2～3 ヶ月かけて、まとめて集める必要があります。このため、事業主から個人番号を収集した平成 28 年 4 月ころから連動テストが終了するころまでのタイミングで、既存システムを個人番号が登録できるように改修したものに切替える必要があります。資格取得・喪失手続があるため、改修したものに早期に切り替えるほど、データの整合性を検査する手戻りの発生が抑えられます。

医療保険者等向け中間サーバーに情報をアップロードするための改修をしたものに切替えるのは、連動テスト以後のソフトウェアが安定した時期に実施します。このため、実運用テスト前に、医療保険者等向け中間サーバーへの情報アップロードに対応した既存システムへの切替を行う必要があります。

※システム切替の詳細は、総合運用テストの詳細が判明した時点で具体的に示す予定です。

3. 5 試験条件

既存システム改修に伴うプログラム単体テストや結合テスト（コンポーネントを統合し、詳細設計を満たしていることを確認するテスト）については、連動テスト以前に完了していることを前提とします。

上記前提に基づき、既存システム開発ベンダーは、連動テストとして、平成28年4月～9月の間に、既存システムと医療保険者等向け中間サーバーとの間が問題ないことを確認する必要があります。

また、内閣官房より別途示される方針に沿って、総合運用テストを実施する必要があります。

さらに、実運用テスト（全関係機関が運用及び業務連動を確認する）のため、健保組合を支援することが考えられます。

連動テスト、総合運用テスト及び実運用テストで想定される対応工数を以下に示します。テストの内容及び見積り根拠等については、仕様書別添資料4「テストの考え方」を参照してください。

項番	作業項目	対応時期	対応想定 人員数	想定工数 (人日)
1	連動テスト計画書の策定	平成28年1月迄	1	1～3
2	連動テスト①環境の準備・接続確認	平成28年3月迄	1	3～6
3	チェックリストの作成	平成28年3月迄	1	1～3
4	連動テスト①の実施	平成28年4月～7月 ※上記期間中で1健保組合 当たり2週間を割当予定	3	30～45
5	連動テスト②環境の準備・接続確認	平成28年4月迄	1	3～6
6	連動テスト②の実施	平成28年5月～9月 ※上記期間中で1健保組合 当たり2週間を割当予定	3	30～45
7	総合運用テストの実施	平成28年8月～12月 ※上記期間中で1健保組合 当たり2週間を割当予定	3	30～45
8	実運用テスト支援 ※基本的に健保組合主体の運用テストであるため、支援内容は担当職員と相談します。	平成28年11月 ～平成29年3月	健保組合と相談し計上してください。	

3. 6 その他の対応事項

上記以外にも以下のような事項を考慮してください。

3. 6. 1 操作マニュアル等の修正

既存システムの改修を反映する形で、既存の操作マニュアル等のドキュメントについて見直しを行います。番号制度では、本人確認、特定個人情報の保護措置等、従来の個人情報の取り扱いとは異なる部分があるため、このようなドキュメントには必ず修正が必要になります。また、健保組合において、業務やシステム運用等を委託している場合には、当該委託契約について仕様の変更等が必要になります。

3. 6. 2 改修後システムの操作研修等の実施

個人番号利用開始及び情報連携開始に際して、既存システムの利用等が変更になります。その際、混乱等が生じないように、事前に個人番号利用事務の対象となる職員全員に研修等を実施してください。

3. 7 統合専用端末等の整備

番号制度に対応するためには、既存システムの改修だけでなく、医療保険者等向け中間サーバーの統合専用端末設置等の作業が必要になります。前述したシステム改修の仕様を踏まえ、以下の環境条件に基づいて、統合専用端末の調達、セットアップ、ネットワーク接続等の作業が必要となります。

- ①統合専用端末が提供する機能
- ②統合専用端末のセットアップ及び必要な台数
- ③取りまとめ機関との新規ネットワークの接続

3. 7. 1 統合専用端末が提供する機能

統合専用端末が提供する主な機能は2つあります。既存システムから情報を医療保険者等向け中間サーバーにアップロードする情報登録機能と、仕様書別添資料2「情報照会できる具体的な手続一覧」にある手続に関する情報を取得する情報照会機能です。統合専用端末が提供する機能について、以下に示します。

項番	機能	入力内容／形式	出力内容／形式
1	「被保険者番号＋枝番」等の取得	個人番号等／ファイル	エラーコード、「被保険者番号＋枝番」等／ファイル
2	情報登録	「被保険者番号＋枝番」等、データ標準レイアウトの各情報等／ファイル	エラーコード／ファイル
3	提供情報の入力	他の情報保有機関から情報提供を依頼された情報のうち、医療保険者等向け中間サーバー上に存在しない情報／画面	エラーコード／画面
4	提供情報の入力（一括）	他の情報保有機関から情報提供を依頼された情報のうち、医療保険者等向け中間サーバー上に存在しない情報／ファイル	エラーコード／ファイル
5	情報照会 ※	照会対象者の特定個人情報、照会内容／画面	パターン1： エラーコード、照会結果／画面 パターン2： エラーコード、照会結果／帳票 パターン3： エラーコード、照会結果／ファイル

項番	機能	入力内容／形式	出力内容／形式
6	情報照会 (一括) ※	「被保険者番号＋枝番」等、 照会内容／ファイル	パターン 1 : エラーコード、照会結果／画面 パターン 2 : エラーコード、照会結果／帳票 パターン 3 : エラーコード、照会結果／ファイル
7	認証	ID・パスワード／画面	ステータス／画面
8	証跡確認	検索条件／画面	パターン 1 : エラーコード、検索結果／画面 パターン 2 : エラーコード、検索結果／ファイル

3. 7. 2 統合専用端末のセットアップ及び台数の考え方

統合専用端末は、医療保険者等向け中間サーバーの開発ベンダーが提供する導入手順に基づいて構築するものとします。セットアップ作業は、標準的な PC のセットアップ作業と同等とし、1 拠点当たり 1～3 人日相当を見込んでいます。

また、健保組合に必要な統合専用端末の台数は、情報登録及び情報照会の方式により異なります。健保組合の環境に応じて、以下の表より適切なものを選択してください。

項番	情報登録	設置台数
1	ファイルでの一括処理	全体または拠点単位に一台
2	1 件ずつ画面で登録	全体または拠点単位に一台

項番	情報照会	設置台数
1	ファイルでの一括処理	全体または拠点単位に一台
2	1 件ずつ画面で照会	照会に該当する事務で使用している台数と同数

3. 7. 3 取りまとめ機関とのネットワーク接続

医療保険者等向け中間サーバーは取りまとめ機関に設置されるため、取りまとめ機関へのネットワーク接続が必要となります。接続は、「IP-VPN 接続方式」または「インターネット (IPsec+IKE) 接続方式」相当を想定しています。

いずれの場合もインターネット接続と本ネットワーク接続の回線を論理的に分離する必要があります。統合専用端末は、本ネットワーク接続の回線に接続された LAN に収容する必要があります。